

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

千葉県健康・医療ものづくり推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

千葉県

3 地域再生計画の区域

千葉県の全域

4 地域再生計画の目標

健康・医療分野は、マーケットの拡大や景気に左右されないという特徴と、医療機器は「多品種・小ロット」で中小企業と相性が良いことから、地域企業における参入意欲が極めて高く、医療機器開発の機運が高まっている分野である。

千葉県は、東葛エリアを中心に技術力の高いものづくり中小企業が集積する製造品出荷額 全国第6位の工業立県である。本県の規模別の事業所数を見ると、98.2%が中小規模の事業所となっている。

また、東葛エリアにある産業支援機関である東葛テクノプラザに隣接する、国立がん研究センター東病院に、次世代医療機器の開発と最先端医療技術の提供プロジェクト「NEXT」の医療機器開発拠点施設（以下、「NEXT 開発拠点」という。）が平成29年度に開所されることとなっている。

こうした背景を踏まえ、本県を支えるものづくり中小企業の健康・医療分野への新規参入を促すため、東葛テクノプラザを拠点として、開発意欲を有する地域企業が試作品・製品開発にチャレンジしやすい環境を整備することで、多くの地域企業の参入や医療機関における課題解決を実現することを目指す。

【数値目標】

	平成29年 3月末	平成30年 3月末	平成31年 3月末
医療機器等の共同開発件数	10件	10件	10件

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

東葛テクノプラザ内の医療機器開発・交流拠点を基盤として、県・国立がん研究センター・千葉大学・千葉県産業振興センターの医工連携プロジェクト「C-square」を活用するとともに、「NEXT 開発拠点」と連携を図りながら、中小企業の製品開発や販路拡大を強力に推進していく。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業 地方創生推進交付金【A3007】

① 事業主体

千葉県

② 事業の名称： 地域連携による健康・医療ものづくり推進事業

③ 事業の内容

本事業は、地方創生交付金（先行型）を活用し、東葛テクノプラザ内に創出した地域密着型の医療機器開発・交流拠点「ちばメディカルオープンラボ」を基盤として、健康・医療分野への新規参入を目指す企業や医工・産学連携による医療機器の製品化・事業化に意欲的な企業を集めた「ちばメディカルネットワーク（登録企業数約 250 社 平成 28 年 4 月現在）」の加入企業を主な対象に本交付金事業を実施する。

県・国立がん研究センター・千葉大学・千葉県産業振興センターの 4 者による医師のニーズと中小企業のシーズのマッチングを行う医工連携プロジェクト「C-square」を活用するとともに、「NEXT 開発拠点」と連携を図りながら、中小企業の製品開発や販路拡大を強力に推進していく。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

県・国立がん研究センター・千葉大学・千葉県産業振興センターによる「C-square」の自主的な運営により、医療現場のニーズと中小企業のシーズをマッチングするとともに、県、地元金融機関等が出資している「ちば中小企業元気づくり基金」を活用した、中小企業の創業や試作品・製品開発、販路開拓などを支援していく。

【官民協働】

国立がん研究センターの NEXT 開発拠点と地域企業の連携組織「地域連携センター（仮称）」を、国立がん研究センターと共同で運営し、医療機器の開発やシンポジウムを実施するほか、地域金融機関、千葉県、中小企業基盤整備機構の出資する基金による健康医療ものづくり分野等への開発助成を行う。

【政策間連携】

本事業は企業支援に止まらず、健康・医療分野の新製品開発により、医師の手術手技を向上させ術後の看護を容易するなど、医師をはじめとした医療スタ

ップ及び患者の負担を軽減する効果があり、医療現場の切実な課題の解決や高い成長が見込まれる健康・医療分野での中小企業の新規事業化、製品化による新たな雇用の創出にも資するものである。

【地域間連携】

東葛地区の自治体との連携で、地域企業に必要な支援内容や情報を掴むとともに、医療機関と地域企業のマッチングや交流会、地域連携センターに関するシンポジウムを開催し、製品開発支援することで、多様な技術の複合製品である医療機器を開発するための企業グループの形成を促し、開発過程で生じる技術的課題の克服を容易にする。

⑤ 重要事業評価指標（K P I）及び目標年月

	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末
医療機器等の共同開発件数	10 件	10 件	10 件

⑥ 評価の方法、時期及び体制

毎年度、産学金労言で構成する「千葉県地方創生総合戦略推進会議」において、地方創生推進交付金事業にかかる K P I の達成状況などを評価し、結果を県ホームページ等に掲載する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

法第 5 条第 4 項第 1 号イに関する事業【A3007】

総事業費 130,800 千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成 31 年 3 月 31 日（3 ヶ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 地域連携による健康・医療ものづくり推進事業（地方創生加速化交付金）

事業概要：平成 27 年度から実施してきた「ちばメディカルオープンラボ」へのメディカルコンシェルジュの配置による参入や製品開発の相談、試作品開発支援プログラムに加え、平成 28 年度からは中小企業の販路拡大及び共同研究・事業提携を推進するため、中小企業の営業力向上セミナーと大規模展示会へ出展支援を併せて実施している。

実施主体：千葉県

事業期間：平成 28 年度

(2) ちば中小企業元気づくり基金事業（成長分野研究開発助成）

事業概要：(公財)千葉県産業振興センターが県内地元金融機関、(独)中小企業基盤整備機構、千葉県からの貸付金を原資として 80 億円の基金を造成し、その運用益により、中小企業者等を対象とした各種支援事業を行うもので、成長分野研究開発助成は、健康医療ものづくり（医療機器及び医療・健康・福祉・介護関連の機器等）等に対する研究開発への助成を行っている。

実施主体：(公財)千葉県産業振興センター

事業期間：平成 28 年度～平成 30 年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成 31 年 3 月 31 日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

定量目標の達成状況を確認するために、毎年度各指標の集計を行い、「千葉県地方創生総合戦略推進会議」において結果について評価を行う。評価結果を踏まえ、目標の効果的な実現に向けて必要な見直しを行う。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末
医療機器等の共同開発件数	10 件	10 件	10 件

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

「千葉県地方創生総合戦略推進会議」による効果検証後、県ホームページ等に掲載する。